

## ソラマメのカルテック施肥例 (暖地・中間地基準、10アール当り)

時期	方法	資材
地力作り	なるべく早い時期に	<b>ラクトバチルス 600グラム</b> … フワフワと肥沃で、連作のきく土に。 <b>堆厩肥 1トン</b> (以上) <b>硫安 60kg</b> (堆厩肥の量とC/N比によって加減します) ※もし通常の複合肥料なら、チツ成分12~16kg程度。 ※播種(定植)時には無機チツが効いていない状態(土壌EC:0.2以下)になるように、早めに投入してください。
整地時	整地時・全面散布 (または地力作りに同時投入)	<b>畑のカルシウム 60kg</b> ※酸性に弱いので、土壌pH:6.5くらいになるように、畑のカルシウムの量と投入時期を調節してください。 (もし特に速く生長させたい場合は 10cm程離して硫安20kgを追加)
育苗の 場合	育苗中 散水時に使用	<b>濃縮酵素液 1000倍</b> … 根を強くし、生長を促進 <b>カルテックCa液状 1000倍</b> … 葉を厚くし、充実させます 4日間隔で交互に、葉の上からタツブリ散布します。
	定植時 定植前後の灌水の時に	<b>濃縮酵素液 500倍液</b> … 初期の根張り促進, 病害軽減
(10~11月) 播種の場合	播種直後・灌水時	<b>濃縮酵素液 500倍液</b> … 初期の根張り促進, 病害軽減
(秋~冬) 初期	葉面散布・灌水	<b>濃縮酵素液 500倍液</b> を葉面散布 (根・生長の促進) 前半は特に根の力をつけることが大事です。 特に生長が弱い場合は原液3~10リットルを灌水(300倍前後) <b>アミノ酸液 500倍</b> で葉面散布(チツなど肥料分の補給)…肥切れ時 初期には あまりチツが効きすぎないように、葉面散布で調節。 <b>カルテックCa液状 500倍</b> で葉面散布(生育を引締め, 病害対策) 特に降霜前に葉面散布しておく、霜害・寒害に強くなります。
(2月) 追肥	株元から5cm程 離して散布し、 土寄せします	併用 <b>硫安 20kg (~40kg)</b> …生育状態によって量を調節 <b>畑のカルシウム 20kg</b> … 莢・実の充実・肥大と成熟を促進
(4月) 摘芯後 ~収穫前	①摘芯の直後	<b>濃縮酵素液 500倍液</b> 葉面散布…草勢を莢・実の肥大へ もしチツ不足なら、アミノ酸液 500倍を混用します。
	②その7日後~ 収穫10日前	<b>カルテックCa液状 500倍液</b> 葉面散布…肥大・成熟の促進 2~3回散布すると効果的です(7~14日間隔)

【カルシウムの効果】花前…(一寸系品種でも)各莢に3粒ずつの豆が入る。豆の大きさが揃う。  
肥大中…豆が新鮮な薄緑色、ツメも変色せず、鮮度を保つ。莢は黒くならず 産毛が多い。薄皮が軟らかい。

カルシウムが効くと、鮮度が落ちにくく、3~5日は美味しい。

ただしソラマメは過熟させず、酵素などで草勢を強くしておいて 未熟豆を収穫する。